

市町村名	栗国村							
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-①	環境美化促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(エ)		
担当部課名	経済課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	村内を訪れる観光客の満足度の向上に向けて、観光地及び観光地へのアクセス道路などの美化・緑化活動を実施する							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	(a) 当初予算額	11,996	33,097	26,410	26,410	38,220		
	(b) 予算現額	11,996	21,271	25,097	23,556	33,329		
	(c) 増減額(b-a)	0	-11,826	-1,313	-2,854	-4,891		
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0		
	A. 計(b+d)	11,996	21,271	25,097	23,556	33,329		
	B. 執行済額	10,747	20,156	18,649	20,342	32,194		
	うち交付金充当額	8,598	16,124	14,918	16,273	25,755		
	次年度繰越額	0	0	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	89.6%	94.8%	74.3%	86.4%	96.6%		
予算の状況の説明	当初どおり観光地5箇所、アクセス道路13路線の清掃美化作業を実施したものの、退職者の発生に伴う人員不足や高所作業車の資格保有者確保が行えなかったことから、不用(1,135千円)が発生した。							
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	美化・緑化活動の実施 観光地:5箇所 アクセス道路:13路線		目標 (観光地:5箇所) (アクセス路)	(観光地:5箇所) (アクセス路)	(観光地:5箇所) (アクセス路)	(観光地:5箇所) (アクセス路)		
	実績 観光地:5箇所 アクセス路		観光地:5箇所 アクセス路	観光地:5箇所 アクセス路	観光地:5箇所 アクセス路	観光地:5箇所 アクセス路		
達成状況説明	栗国村へ来島する観光客の満足度向上に向けて、観光地5箇所(大正池、ウーグ、東ヤマトウギー、ヤヒジャ、洞寺公園)及びアクセス道路13路線において美化・緑化活動を実施し、目標を達成した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
			目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業の在り方について検証する。		実績		83%	81%	82%	
	進捗状況説明	観光客へ本事業の美化・緑化活動についてアンケートしたところ、「観光スポットについて良かった」との回答が82%となり、目標を達成した。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(アンケート結果について) 目標達成はできず、新型コロナウイルスの影響により、観光客が例年と比べて大幅に減少している。	(アンケート結果について) 沖縄県により沖縄本島と粟国村、沖縄県と他都道府県の往來の自粛が要請される日が続いた。 ワクチン接種など自粛解除のための活動を進める必要がある。
	(作業員の確保) 退職者の発生により、必要な作業員数を確保できない期間があった。 新たに採用はできたが、速やかに最大人数を確保できる仕組みが必要である。	(作業員の確保) 村外も含めた周知方法の強化を検討する必要がある。
	(不用額の縮減) 不用額があったため、縮減する必要がある。	(不用額の縮減) 不用額を縮減する取り組みを検討する。

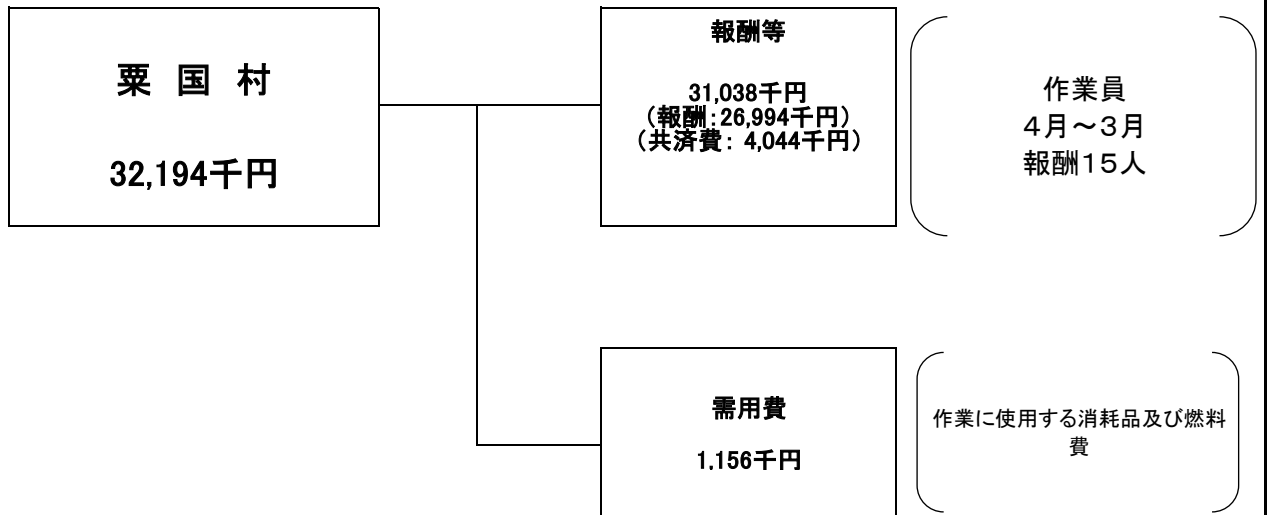
今後の取り組み方針

(アンケート結果について) 情報発信を密に行い、観光客が安心して来島できるようにする。
(作業員の確保) 作業員の募集について、例年同様「広報誌、村内放送、掲示板、声かけ等」を複数回実施し、村HPへの募集掲載やハローワークを有効活用し、村外からの募集周知についても強化する。
(不用額の縮減) 不用の減額に向けて、予算執行状況を随時把握し、不用が発生する場合は流用するなど適切に処理する。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
32,194	32,194	25,755	6,439	0



資金の流点れ、評価目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、村の規定に基づき会計年度任用職員として採用し、妥当であった。 ○不用額があったが約0.4%と概ね適切だった。 ○費用、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	栗国村		令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】				
事業番号・事業名	1-②	栗国村「ア」のくにづくり推進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア			
担当部署名	経済課	事業実施(予定)年度	平成26年~28年度、平成30年~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
事業内容	イベントを通して、地域の伝統芸能の保存継承を図るとともに、観光誘客を図るため、栗国村「ア」の国まつりの開催及び広報周知活動を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	(a) 当初予算額	24,707		19,128	19,128	33,505	
	(b) 予算現額	24,700		19,128	22,015	24,838	
	(c) 増減額(b-a)	▲7		0	2,887	▲8,667	
	(d) 繰越額	0		0	0		
	A. 計(b+d)	24,700		19,128	22,015	24,838	
	B. 執行済額	24,700		18,885	22,015	24,838	
	うち交付金充当額	19,760		15,108	17,611	19,870	
	次年度繰越額	0		0			
	執行率(%) (B/A)	100.0%		98.7%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	当初計画どおり執行をすすめたと、当初予算と予算現額で入札残により不用(8,667千円)が生じたが、交付変更により減額対応し、執行率は100%であった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	インターネットを活用した動画配信	目標	()	()	()	(作成動画1本)	
		実績				作成動画1本	
ブース設置	目標	()	()	()	(ブース設置期間:6日)		
	実績				ブース設置期間:9日		
達成状況説明	観光地としての知名度向上を図るため、インターネットを活用した動画配信視聴SNS等へのアクセス向上のためのPR動画を1本作成し、目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	インターネットを活用した動画配信: 動画視聴SNS等へのアクセス数(公開日から3ヶ月間の月平均):705アクセス	目標	()	()	()	(705アクセス)	()
		実績				1,816アクセス	
	ブース設置: ブース来店者7,900人(1日平均1,300人~1,400人)に観光PR用配布物を提供する。	目標	()	()	()	(7,900人)	()
実績					4,000人		
進捗状況説明	(インターネットを活用した動画配信について) 動画視聴SNS等へのアクセスについて、新型コロナウイルスの影響により撮影隊が栗国入りできず、動画完成が遅れたため、配信期間が2月17日~3月20日の32日間(約1か月)となったが、その間のアクセス数は合計1,816アクセスを記録し、目標を達成したと考える。 (ブース設置について) 観光PR用に作成した配布物について、目標7,900人に対し4,000人へ配布し目標を達成出来なかった。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(インターネットを活用した動画配信について) Google・Yahoo広告を有効的に利用し、動画への視聴誘導を行い、また、フェイスブック、インスタグラム、ユーチューブ等SNSを有効活用したPR配信が効果的であった為、目標達成したと考える。	(インターネットを活用した動画配信について) PR動画3種類のうち、アクセス数が最も高かったのが短編15秒版ユーチューブ再生回数の23万回であり、この情報をもとにさらなる検証が必要である。
	(ブース設置について) 目標未達の理由として、ブース設置期間が2月の新型コロナウイルスの影響による緊急事態宣言発出のため、来場者数に大きな影響があった。	(ブース設置について) 予測できない緊急事態宣言等に備えた地域選定を検討する必要がある。

今後の取り組み方針

(インターネットを活用した動画配信について)
観光PRのアクセスの向上を図るため、継続的にアクセス数を測定し、ユーザー動向の調査を行い、より効果的な動画の作成・配信方法について検討を続ける。

(ブース設置について)
緊急時に備え、首都圏以外でもブース設置ができるよう代案を複数検討する。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
24,838	24,838	19,870	4,968	0

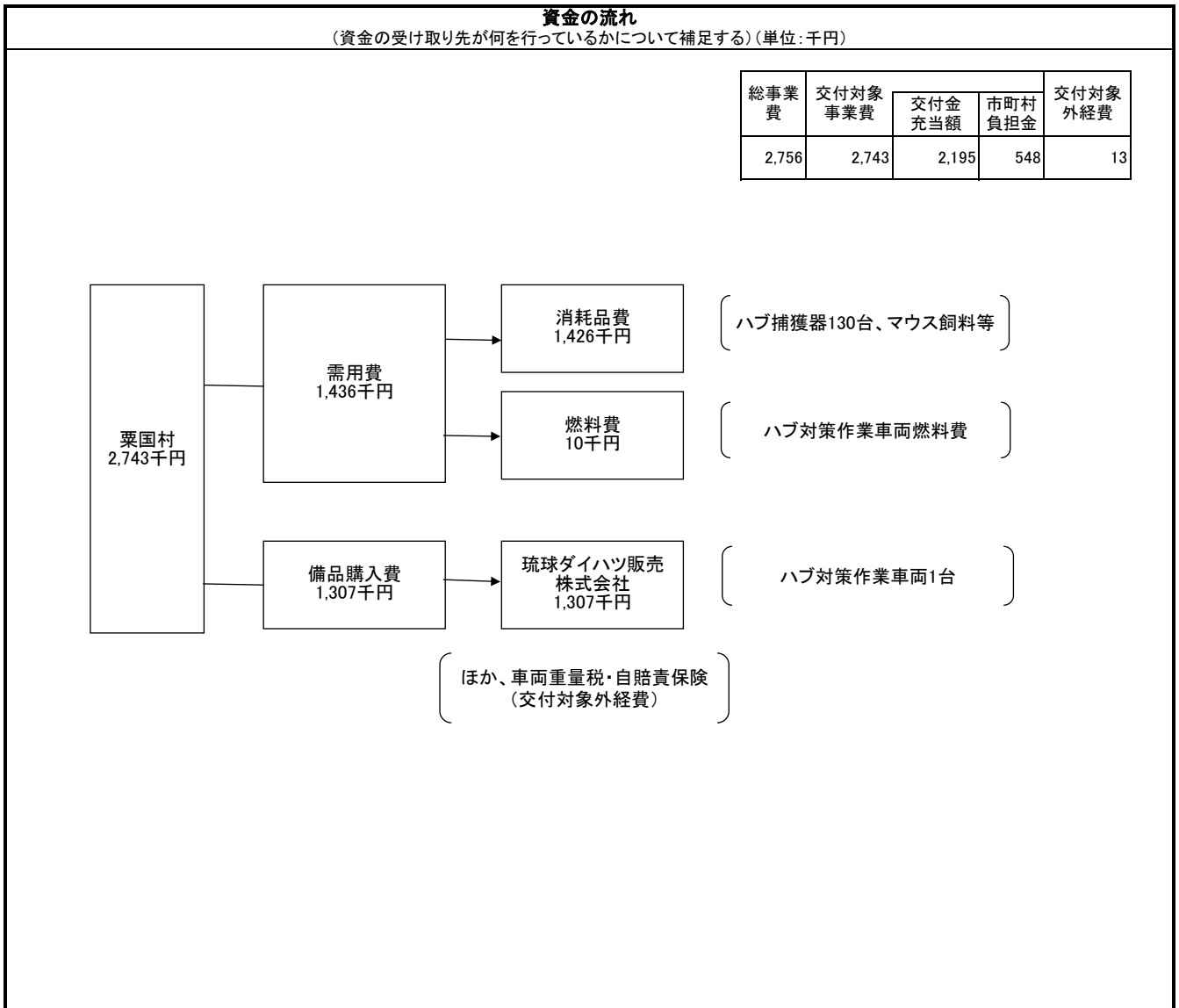


栗国村「ア」のくにづくり
推進事業委託業務

資金の流 点検、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託事業者は公募型プロポーザル方式により、企業組織、実績、知識当を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。 ○予算規模については、3社見積に基づいて適正に積算を行っている。 ○費用、使途については事業目的達成の観点から、必要なものか等について額の確定において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	栗国村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	ハブ対策事業					
担当部課名	民生課	事業実施(予定)年度 令和2年～令和3年度					
		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 観光客の受入体制の整備					
		沖縄振興基本方針該当箇所 Ⅲ-1-(1)					
事業内容	地域住民や観光客の安全確保のため、ハブの捕獲・駆除を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	R2年度						
	(a) 当初予算額	5,659					
	(b) 予算現額	3,107					
	(c) 増減額(b-a)	▲ 2,552					
	(d) 繰越額	0					
	A. 計(b+d)	3,107					
	B. 執行済額	2,743					
	うち交付金充当額	2,195					
	次年度繰越額	0					
	執行率(%) (B/A)	88.3%					
予算の状況説明	当初作業員1名を配置する予定であったが人員確保できなかったため、当初予算と予算現額で不用(2,552千円)が生じたが、交付変更により減額対応し、執行率は88%であった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)	達成状況					
	捕獲器の設置130台	目標	(130台) () () ()				
		実績	130台				
	達成状況説明	・捕獲器設置については、ハブが捕獲された地域へ110台捕獲器を設置し、また、捕獲されていない地域に生息域確認用20台設置、計130台の設置を実施し目標を達成した。 ・作業員1名について募集したが応募がなくハブ対策に専任する人員の確保ができず、目標が達成できなかったが、環境衛生業務に従事する職員が業務を兼務し対応した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)	基準値(年度)	R2年度			目標値(年度)	
	ハブ咬傷被害0件	目標	()	(0件)	()	()	()
		実績		0件			
	進捗状況説明	年間を通じ捕獲器130台を設置し、ハブ講習会開催1回、ハブ注意喚起の看板の設置、村内放送や広報誌をとおして注意喚起を行ったこともあり、咬傷被害0件を達成することができた。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度は県の生息確認調査のため捕獲器60台を設置し、9匹のハブが捕獲された。令和2年度はハブ駆除のため捕獲器を130台設置した結果、捕獲数が大幅に増加している。 これまでハブが生息しない島であったが、平成29年に発見されてから、生息している可能性が高くなったことから令和2年度からハブ対策事業を実施している。咬傷被害防止の取り組みとしてハブ講習会の開催や捕獲場所に注意喚起の看板の設置、注意喚起の村内放送を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ハブ捕獲数が増加しているため、ハブ対策事業へ専任する人員確保が必要である。 ハブ出現地域においてハブが生息しやすい環境整備を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 事業専任職員を確保し引き続き捕獲器130台を設置し、ハブの個体数の減少と生息域確認調査も行い、ハブが生息しやすい環境整備を行うため草刈りの作業も実施し、安全・安心な観光地の形成を図る。 		



資金の流 れ、 検 査 費 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○車両購入については一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については当初燃料費を36万円計上していたが、車両の納車が9月となったため、35万円の不用額があったが、その他事業内容に見合った適正な規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	粟国村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	学力向上支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成27～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の確保		
事業内容	島内の児童生徒の学習環境の充実を図り、生徒の学力向上を図るため、村営塾を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		4,565	4,217	11,041	11,041	11,259
			3,858	4,217	11,041	10,169	9,533
			▲707	0	0	▲872	▲1,726
			0	0	0	0	0
	B. 執行済額 うち交付金充当額		2,971	1,896	7,797	8,226	8,123
			2,377	1,516	6,237	6,580	6,498
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	77.0%	45.0%	70.6%	80.9%	85.2%
		予算の状況の説明	新型コロナウイルス感染症対策のための緊急事態宣言により学校が臨時休校となり、それに伴い塾についても休講となったため、不用額が発生したが変更契約を行い対応した。				
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	令和2年4月～令和3年3月まで、月平均80コマの村営塾の実施		目標 (月平均100コマ)	(月平均160コマ)	(月平均160コマ)	(月平均80コマ)	
			実績 月平均80コマ	平均68コマ	月平均101コマ	月平均70コマ	
	達成状況説明	村営塾を実施することで学習環境が整い、当初、予定していた月平均80コマを予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策のための緊急事態宣言により学校が臨時休校となり、それに伴い塾についても休講となったため月平均70コマの実施となり、目標が達成できなかった。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差		目標 ()	(小5ポイント中5ポイント)	(小平均以上中5ポイント)	(小2以上中3以上)	()
	小学校:2ポイント以上 中学校:3ポイント以上		実績	小+3.90ポイント 中+2.75ポイント	小+1.3ポイント 中-5.5ポイント	小+8.86ポイント 中+1.38ポイント	
		進捗状況説明	沖縄県学力到達度調査の正答率は小学校・中学校ともに県平均を上回った。 ・小学校平均+8.86ポイント(県との差) (内訳:小5・国語+5.7 小5・算数+9.65 小6・国語+12.0 小6・算数+8.1) ・中学校平均+1.38ポイント(県との差) (内訳:中1・英語-8.1 中1・国語+7.0 中1・数学+5.2 中2・英語-4.8 中2・国語+10.8 中2・数学-1.8)				

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・予測不能な新型コロナウイルス感染症の影響で塾が休講となり、目標を達成出来なかった。 ・出席率アップのための改善策を検討する必要がある。 ・沖縄県学力到達度調査において県平均を上回り目標達成となったが、児童生徒によっては学習ニーズが異なるため、均一的な授業だけでなく全体の底上げを図るさらなる取り組みを検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策を強化する必要があると考える。 ・塾の実施日程について、学校側で考慮してもらえよう。小学校、中学校それぞれの部活動や学校行事等を調整する必要がある。 ・児童生徒個々の学力に応じた授業カリキュラムを実施することで、基礎学力を定着させ、更なる充実・推進を図る必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校と連携し、児童生徒の離村自粛等の強化を行い村内感染を防ぐ取り組みを実施し、安心安全な塾実施のあり方について検討していく。 ・村営塾の出席率向上に向け、学校側と受注者側、及び発注者側との情報共有を図り、個々に合わせた柔軟な対応を検討する。 ・基礎学力を強化させるため、これまで培ってきた授業カリキュラム等を検証し、効果的に学習する環境整備の充実及び授業内容の工夫・改善を行っていく。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
8,123	8,123	6,498	1,625	0

栗国村

8,123千円

委託料

8,123千円

**一般社団法人
教育振興会**

8,123千円

{

アニー学力アップ支援事業
業務委託

}

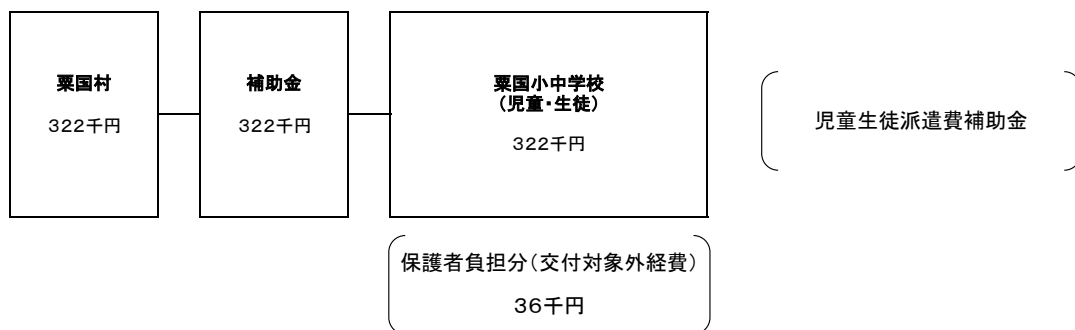
資金の流 れ 点 検 評 価 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定されており、妥当であった。 ○変更契約により、事業内容にあった規模に修正した。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	粟国村							
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-③	児童・生徒派遣支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア		
担当部署名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成27～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の充実 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	島外のひととの競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で開催される大会等及びその指導者等に対し、運賃等の補助を行う。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		(a) 当初予算額	4,151	5,319	3,626	36,480	5,261	
		(b) 予算現額	1,911	3,019	3,626	2,218	544	
		(c) 増減額(b-a)	▲ 2,240	▲ 2,300	0	▲ 34,262	▲ 4,717	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
		A. 計(b+d)	1,911	3,019	3,626	2,218	544	
		B. 執行済額	1,756	2,228	2,343	2,012	323	
		うち交付金充当額	1,405	1,783	1,874	1,609	258	
		次年度繰越額	0	0	0	0	0	
		執行率(%) (B/A)	91.9%	73.8%	64.6%	90.7%	59.4%	
予算の状況の説明	新型コロナウイルス感染症対策の為、派遣(参加)予定していた大会等が中止になったことにより減額が生じ、市町村間流用にて減額対応したが、予想以上の新型コロナウイルス感染症が影響し不用額が発生、執行率も59.4%となった。							
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況					
	児童生徒の島外の大会及び教育活動への参加の支援		目標	(支援)	(支援)	(支援)	(支援)	
			実績	支援実施	支援実施	支援実施	支援実施	
	達成状況説明	新型コロナウイルス感染症対策のためほとんどの大会開催が中止となり、派遣数が激減となった。 派遣実績 H29年度・・・195名 H30年度・・・165名 R1年度・・・156名 R2年度・・・28名(児童・生徒24・引率4)						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	対象児童生徒保護者に対してアンケートを取り、児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。		目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
			実績		100%	97%	100%	
	進捗状況説明	対象の児童生徒保護者に対し、アンケートを実施したところ『児童生徒の視野が広がったか』の問いに対し、「とても思う」、「どちらかというとそう思う」、の回答が合わせて100%の回答となり、目標を達成した。						
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)			改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)				
	新型コロナウイルス感染症対策によりほとんどの大会等が中止となり、派遣数が激減した。			大会等に参加できなかった場合において、児童生徒が島内では体験不可な経験を積めるよう、派遣内容を検討する必要がある。				
今後の取り組み方針								
参加できなかった大会等については、児童生徒が十分な経験が積めるよう、大会運営委側と協議し代替の大会を設定する等、児童生徒の競争や交流機会の確保を検討する。								

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

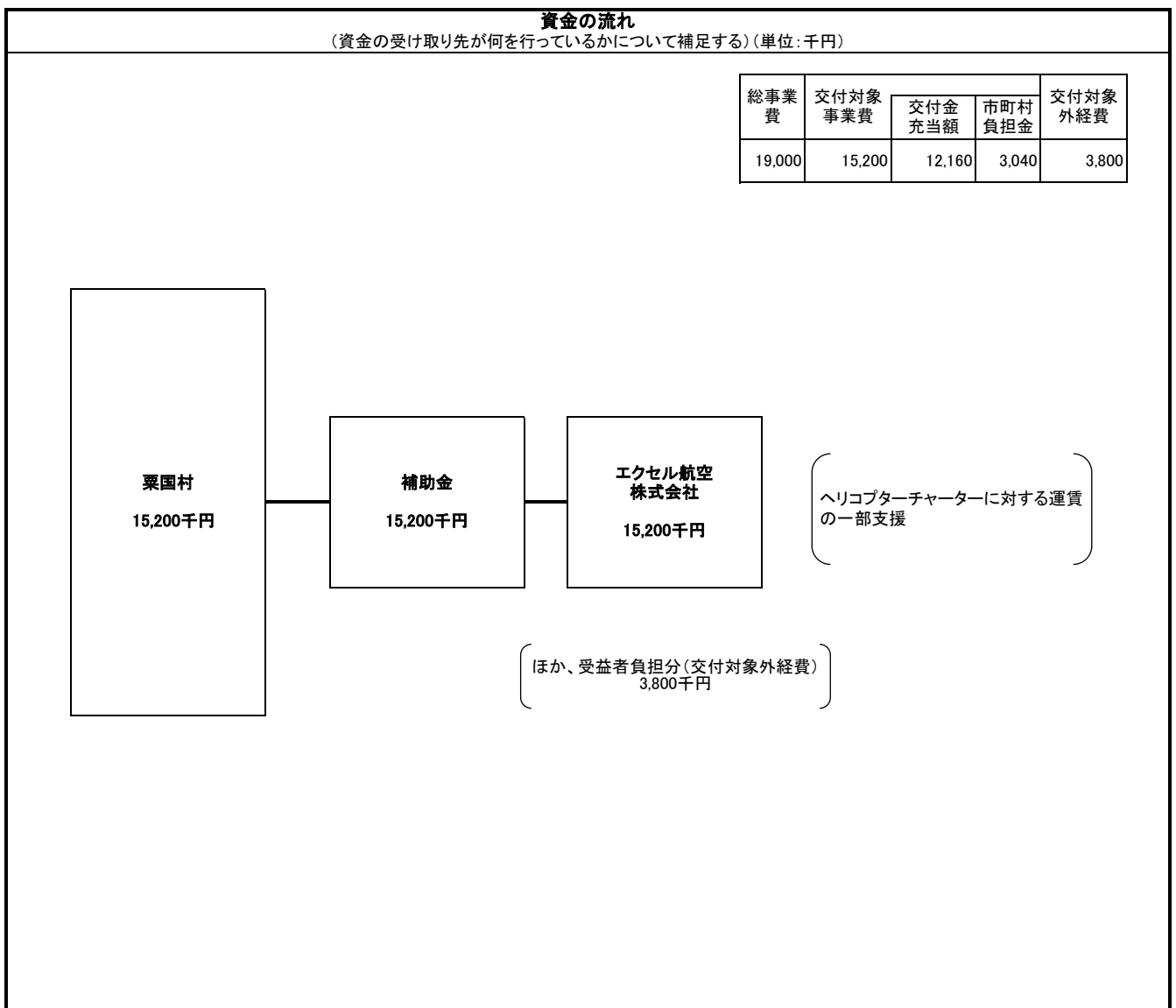
総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
358	322	258	64	36



	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の 用途の 流れ、 点検、 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先について、粟国村児童生徒派遣費補助金要綱に基づき、粟国小中学校を通して児童・生徒に間接的に補助する形態であり妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模について、新型コロナウイルスの予想外の影響により、不用額は約40%となった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担については粟国村児童生徒派遣費補助金要綱に基づいて保護者から一律の負担となっており妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については粟国村児童生徒派遣費補助金要綱に基づき、支給していることや派遣費の使途については精算時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。

市町村名	栗国村							
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-①	栗国村交通移動手段安定化対策事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ウ			
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成27~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化			
事業内容	島民及び来島者の利便性の確保を図るため、航空路線の運航日以外にチャーターヘリコプターを利用した場合の運賃を一部支援する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	(a) 当初予算額	32,960	36,480	36,480	36,480	48,900		
	(b) 予算現額	36,958	38,720	18,240	18,720	19,000		
	(c) 増減額(b-a)	3,998	2,240	▲ 18,240	▲ 17,760	▲ 29,900		
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0		
	A. 計(b+d)	36,958	38,720	18,240	18,720	19,000		
	B. 執行済額	36,160	38,720	14,960	18,480	19,000		
	うち交付金充当額	28,928	30,976	11,968	14,784	12,160		
	次年度繰越額	0	0	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	97.8%	100.0%	82.0%	98.7%	100.0%		
予算の状況の説明	新型コロナウイルス感染症の影響により利用実績が想定を下回り当初予算と予算現額で不用(29,900千円)が生じたが、交付変更により減額対応し、執行率は100%であった。							
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	航空路線の運航日以外の島民及び来島者のチャーターヘリ利用料金支援		目標	(利用料金を支援)	(利用料金を支援)	(利用料金を支援)	(利用料金を支援)	
			実績	利用料金を支援	利用料金を支援	利用料金を支援	利用料金を支援	
達成状況説明	令和2年4月1日~令和3年3月22日の期間における計190フライト(利用者660人)に対するチャーターヘリ利用料金の支援を行った。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	ヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。		目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
			実績	97%	97%	98%		
	進捗状況説明	令和2年4月1日から令和3年3月22日の期間、ヘリタクシー利用者へアンケートしたところ、「運賃補助を行うことで、利便性が確保されている」との回答が98%となり目標を達成した。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・利便性が確保されているとのアンケート達成に関しては、補助を行う事により片道貸切料金165,000円→22,000円との設定金額が適正であることから、金銭面での負担軽減が利便性の確保につながり、また、飛行機停止中において、移動手段として1日1往復の定期船しかない状況で、村営定期船欠航時の代替えがある事、時間の短縮など交通移動手段として補完的かつ安定的な役割を果たしていることも目標達成の要因と考えられる。 ・国より航空会社へ30便/30日の便数制限がかけられており、交通移動手段確保において影響が発生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利便性の確保について、目標の数値を達成しており、また、平成30年度より現状の取組で97～98%と高い実績値を維持しており、改善の必要はないものと考えられる。 ・国の検査において、航空会社への便数制限が解除され、令和2年12月23日より通常運航が可能となった。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・航空路線が再開するまで、引き続き運賃補助を行うことで利便性を確保し、島民及び来島者の交通手段を安定的に確保する。 		



資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、ヘリ運航事業者はエクセル航空株式会社のみが参入しているので妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、当初の想定を大きく下回ったが減額対応し、不用額が発生していないことから、事業内容に見合った適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担は1フライトにつき8割補助、2割受益者負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	粟国村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	粟国村自動車航送運賃低減化事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ア			
担当部課名	船舶課	事業実施(予定)年度	令和2年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減		
事業内容	離島の不利性を解消し定住環境の改善を図るため、住民生活を圧迫する要因となっている粟国・那覇間の自動車航送運賃を軽減する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度				
	予算の状況	(a) 当初予算額	35,234				
		(b) 予算現額	5,301				
		(c) 増減額(b-a)	▲ 29,933				
		(d) 繰越額	0				
		A. 計(b+d)	5,301				
	B. 執行済額		3,441				
	うち交付金充当額		2,752				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		64.9%				
予算の状況の説明		当初は過去実績を踏まえ利用台数を設定していたが、新型コロナウイルス感染症対策による渡航自粛要請等により利用実績が想定を下回り当初予算と予算現額で不用(29,933千円)が生じ、交付変更により減額対応したが、感染症の影響が長引いたため、最終執行率は64.9%に留まった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度				
	自動車航送運賃の低減		目標	(負担軽減)	()	()	()
			実績	負担軽減			
達成状況説明	<p>村内住民の沖縄本島との唯一の交通手段である船舶において、令和元年8月～令和2年3月までの期間に往復車両航送運賃の助成を行ったことで、定期的に本島との往来を行うに際しての不利性が緩和されたことで、教育・医療・福祉の充実と定住条件の向上・村民の負担軽減に寄与した。</p>						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	<p>沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか(80%)を含め、住民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。</p>		目標	()	(80%)	()	()
			実績		85%		
	進捗状況説明	<p>村民(利用者)を対象にアンケート実施し85%が肯定的な意見となっており、目標を達成できた。</p>					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	旧盆、旧正月においては船舶の利用者が増え、旅客・車両の発券に時間を要する場合があります。住民とその他の利用者との乗船する場合の確認を徹底するように取り組む必要がある。	事前の申請受付を行っていただけるよう、村広報誌等で掲載し周知を行う。
今後の取り組み方針		
車両の予約確認体制及び運用体制を強化し、粟国港(船舶課)と泊港(那覇事務所)にて予約情報を共有し住民と来島者の予約等の運用について理解と協力を得ることで、スムーズかつ安全安心な車両の乗船が可能となるよう取り組んで行く。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> <tr> <td>6,886</td> <td>3,441</td> <td>2,752</td> <td>689</td> <td>3,445</td> </tr> </table>			総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,886	3,441	2,752	689	3,445
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
6,886	3,441	2,752	689	3,445										
<p style="text-align: center;">粟国村(一般会計)</p> <p style="text-align: center;">令和元年8月～令和2年3月</p> <p style="text-align: center;">総事業費 6,886千円</p> <p style="text-align: center;">交付対象事業費 3,441千円</p> <p style="text-align: center;">粟国村船舶運航事業特別会計へ繰り出し</p>	請求 繰出	<p style="text-align: center;">粟国村【船舶運航事業特別会計】</p> <p style="text-align: center;">令和元年8月～令和2年3月</p> <p>▼総事業費(自動車航送運賃総額)6,886千円</p> <p>●交付対象事業費(助成金繰出金)3,441千円 1台あたり(チケット代×台数) 3M～4M(14,120円×217台≒3,064千円) 4M～5M(18,840円×20台≒377千円)</p> <p>●交付対象外経費(受益者負担分)3,445千円 1台あたり(チケット代×台数) 3M～4M(14,140円×217台≒3,068千円) 4M～5M(18,860円×20台≒377千円)</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 自動車航送運賃往復代に対する運賃の一部支援 </div>												

資金の流 れ、 点 検 、 評 価 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○船舶航路事業特別会計において、自動車航送券の発券及び集計を行っており支払先は妥当だと考えられる。 ○予算規模については、減額補正があったものの妥当と考えられる。 ○5割強を受益者が負担していることから妥当であると考えられる。○費目・用途について、各提示において支出等に関する書類により確認し適当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	粟国村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③	子育て支援事業					
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度 令和2年～令和3年度					
		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 沖繩振興基本方針該当箇所					
		第3章-3-(11)-イ 生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 III-9					
事業内容	子育て世代含む島外への人口流出による人口減少を抑える為、子育て世代が安心安全に利用できる児童公園の遊園整備を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	R2年度						
	(a) 当初予算額	9,990					
	(b) 予算現額	7,920					
	(c) 増減額(b-a)	-2,070					
	(d) 繰越額	0					
	A. 計(b+d)	7,920					
	B. 執行済額	7,920					
	うち交付金充当額	6,336					
	次年度繰越額	0					
	執行率(%) (B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	当初計画どおり執行を進めたところ、当初予算と予算現額で入札残により不用(2,070千円)が生じたが、予算減額対応し、執行率は100%であった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	粟国村子育て支援施設整備基本計画の策定	目標	(策定)				
		実績	策定				
	粟国村子育て支援施設整備実施設計の完了	目標	(実施設計完了)				
実績		実施設計完了					
達成状況説明	幼児から小学生が気軽に安心安全に遊べる児童公園を整備するための、「粟国村子育て支援施設整備基本計画」の策定ならびに「粟国村子育て支援施設整備実施設計」が完了し、目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R4年度)
	粟国村子育て支援施設整備基本計画の策定	目標	()	(策定)	()	()	()
		実績		策定			
	粟国村子育て支援施設整備実施設計の完了	目標	()	(実施設計完了)	()	()	()
		実績		実施設計完了			
【参考指標】 「子育て支援の充実的な整備が行われたか」を含め、保育園・幼稚園・小学校生徒の保護者等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	()	()	()	(80%以上)	
	実績						

進 捗 状 況 説 明	幼児から小学生が気軽に安心安全に遊べる児童公園を整備するための、「栗国村子育て支援施設整備基本計画」の策定ならびに「栗国村子育て支援施設整備実施設計」が完了し、目標を達成した。
----------------------------	--

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(粟国村子育て支援施設整備基本計画の策定について) 教育委員会と連携し、児童生徒の保護者への要望調査がスムーズに行えた事が策定の要因である。	(次年度の工事について) 実施設計を基に適切な工事執行に努める必要がある。
	(粟国村子育て支援施設整備実施設計の完了について) コロナ過の状況ではあったが、Web会議システム等を有効活用し委託業者との密な打ち合わせを行った事が完了の要因である。	(公園の管理について) 清掃を含めた公園の管理体制について検討する。
	(公園の管理について) 公園の管理者を選定する必要がある。	

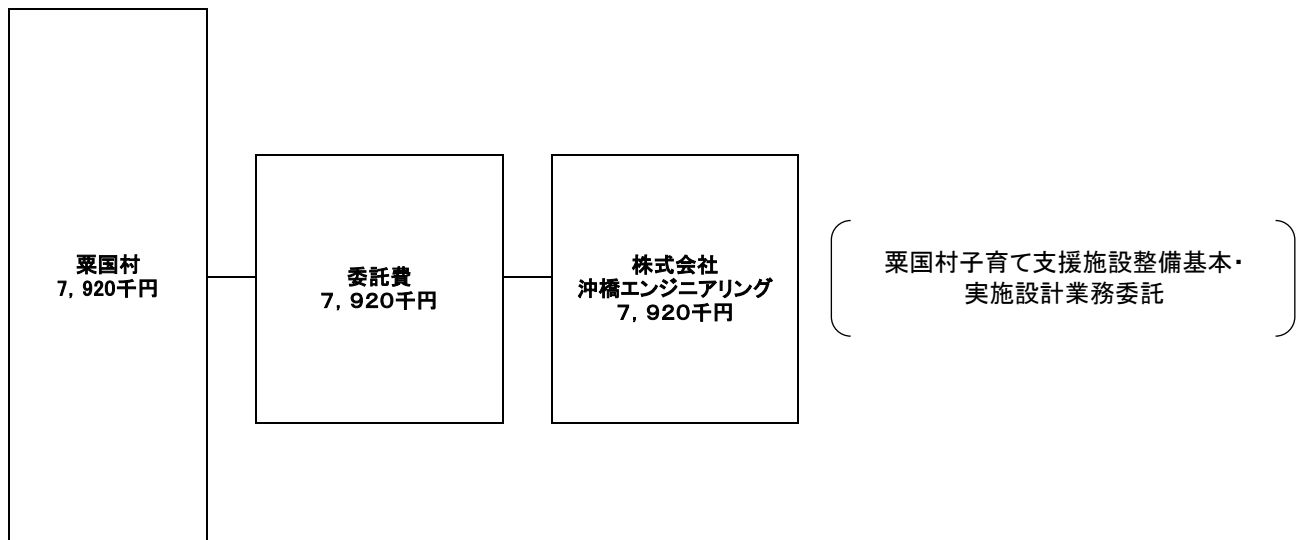
今後の取り組み方針

(次年度の工事について) 整備工事を円滑に完了させる為に、これから訪れる台風シーズンを見据えた余裕を持った行程管理を行う。また、来島する業者の宿泊先について業者より要望があれば、公共施設の使用について指定の手続きの用意を行い、調整する。
(公園の管理について) 検討委員会等を立ち上げ、学校関係者や地域住民の代表・観光協会等と管理体制について協議する。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,920	7,920	6,336	1,584	0



資金の流 点検、 評価目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については、減額対応し、執行率は100%であった。 ○費用、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	栗国村		令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】				
事業番号・事業名	3-④	栗国村慰霊碑周辺環境整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア			
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	令和2年~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり III-9		
事業内容	高齢者や地域住民が安心安全に集えるよう、慰霊碑周辺の整備を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度				
	予算の状況	(a) 当初予算額	13,453				
		(b) 予算現額	8,690				
		(c) 増減額(b-a)	-4,763				
		(d) 繰越額	0				
	A. 計(b+d)		8,690				
	B. 執行済額		8,690				
	うち交付金充当額		6,952				
	次年度繰越額		0				
執行率(%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		当初計画どおり執行を進めたところ、当初予算と予算現額で入札残により不用(4,763千円)が生じたが、予算減額対応し、執行率は100%であった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	栗国村慰霊碑周辺環境整備計画の策定	目標	(策定)				
		実績	策定				
	栗国村慰霊碑移設整備実施設計の策定	目標	(実施設計完了)				
実績		実施設計完了					
達成状況説明	高齢者や地域住民が安心安全に集える慰霊碑周辺を整備するための、「栗国村慰霊碑移設整備基本計画」の策定ならびに「栗国村慰霊碑移設整備実施設計」が完了し、目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R4年度)
	栗国村慰霊碑周辺環境整備計画の策定	目標	()	(策定)	()	()	()
		実績	/	策定			/
	栗国村慰霊碑移設整備実施設計の策定	目標	()	(実施設計完了)	()	()	()
		実績	/	実施設計完了			/
	【参考指標】 「効果的な平和学習の促進が実施可能な環境整備がなされた」および「世代間のコミュニケーションの活性化が実施可能な環境整備がなされた」を含め小中学校生徒・慰霊祭出席者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	()	()	()	(80%以上)
実績	/				/		
進捗状況説明	高齢者や地域住民が安心安全に集える慰霊碑周辺を整備するための、「栗国村慰霊碑移設整備基本計画」の策定ならびに「栗国村慰霊碑移設整備実施設計」が完了し、目標を達成した。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(粟国村慰霊碑移設整備基本計画の策定について) 社会福祉協議会や教育委員会と連携し、地域高齢者や生徒の保護者への要望調査がスムーズに行えた事が策定の要因である。	(次年度の工事について) 実施設計を基に適切な工事執行に努める必要がある。
	(粟国村慰霊碑移設整備実施設計の策定について) コロナ過の状況ではあったが、Web会議システム等を有効活用し委託業者との密な打ち合わせを行った事が完了の要因である。	(慰霊碑の管理について) 清掃を含めた慰霊碑の管理体制について検討する。
	(慰霊碑の管理について) 慰霊碑の管理者を選定する必要がある。	(慰霊碑の有効活用について) 平和学習のあり方について検討する。
	(慰霊碑の有効活用について) 慰霊碑を有効活用し、平和取り組みを検討する必要がある。	

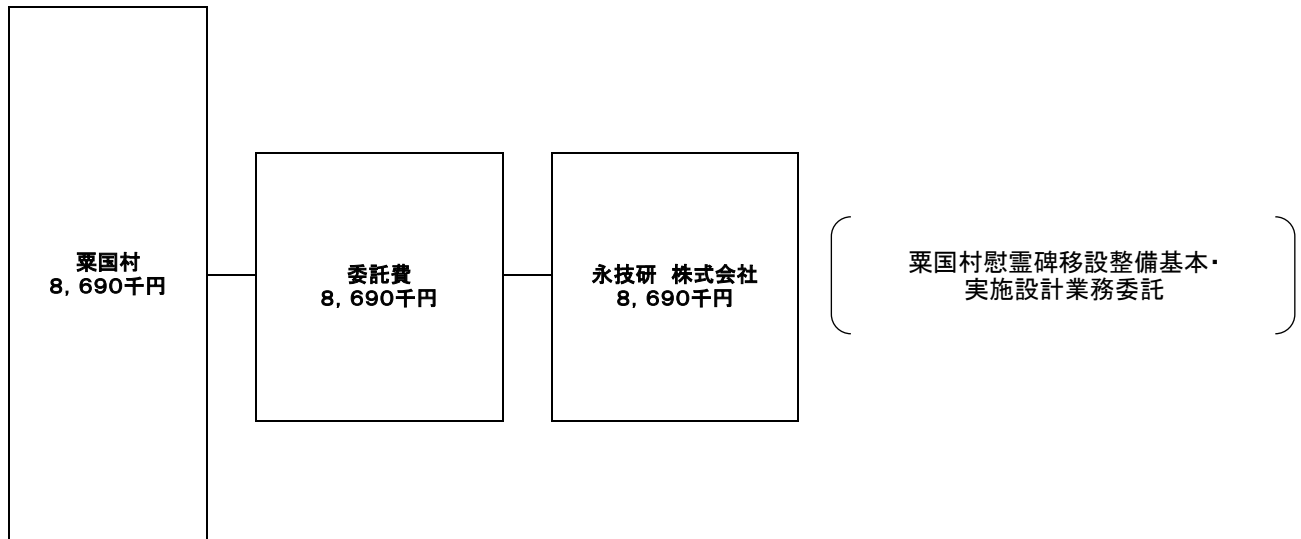
今後の取り組み方針

(次年度の工事について) 整備工事を円滑に完了させる為に、これから訪れる台風シーズンを見据えた余裕を持った行程管理を行う。また、来島する業者の宿泊先について業者より要望があれば、公共施設の使用について指定の手続きの用意を行い、調整する。
(慰霊碑の管理について) 検討委員会等を立ち上げ、学校関係者や敬老会・観光協会等と管理体制について協議する。
(慰霊碑の有効活用について) 社会科担当教員やPTA役員と協議し、平和学習プログラムの作成に取り組む。また、語り部の確保について敬老会等と調整を行う。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
8,690	8,690	6,952	1,738	0



資金用途の流れ、検証、評価目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については、減額対応し、執行率は100%であった。 ○費用、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		